

2

山田さんは、国語の授業で、絵をもとに物語を創作しています。次は、【提示された絵】と【物語の下書き】です。これらを読
んで、あとの問いに答えなさい。

【提示された絵】



【物語の下書き】

本当にくだらな理由だった。冗談で言った一言が、あんなに勇太を怒らせるな
んて……。

あの日以来、勇太とは口をきいていない。今日の遠足で、仲直りをしようと思っ
たけれど、謝るきっかけが見つからない。僕の心は沈んでいた。学校を出発したと
きにはまぶしかった太陽も、今は雲に隠れてしまっていた。

今日も仲直りできないと諦めかけた帰り道、僕は石につまずいて転んでしまった。

「痛い。」

僕は、右膝みまひざを抱えた。

「大丈夫か。」

勇太だった。いつもの優しい声だった。

その声を聞いて、僕は心に決めた。

「この前のごめん。」

「もういいよ。そんなことより、足、大丈夫か。」

そう言いながら、勇太は僕に手を差し出してくれた。

「大したことはないよ。」

見上げた勇太の後ろには、

A

僕は立ち上がり、勇太と肩を並べて歩き始めた。また、仲良く過ごせると思うと、
僕はうれしくなった。

一 線部では、曇り空の情景を使って、すっきりしない主人公の気持ちを表現していますが、その後、主人公の気持ちは変化しています。その気持ちの変化を効果的に表現するために、**A**の部分に、この場面にふさわしい空の描写を書き加えたいと思います。書き加える描写として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 いつの間にか雨が上がって虹がかかっていた
- 2 いつの間にか雲が晴れて青空が広がっていた
- 3 いつの間にか重苦しい雲が立ち込めていた
- 4 いつの間にか夕方の薄暗い空が広がっていた

二 僕が勇太と仲直りができたうれしさを読み手に印象深く伝えるために、**線部**「僕はうれしくなった」を次のように書き換えました。次の()に当てはまる言葉を考えて、**五字以内**で書きなさい。

僕の心は ()。